



中川 雅之 議員

小中一貫教育について

「小中一貫連携研究事業」を開始し、毎年度1中学校区を指定し、研究を進め、中学校区ごとの家庭学習の在り方や教職員の交流、地域の実情に合わせた取組などを推進しています。これまでの小中連携の取組で、大きく3つの成果が確認できました。1つ目は、小学校・

中学校の教職員の相互理解が深まったこと。2つ目は、教職員が児童生徒を多面的に見ることができるようになったこと。3つ目は、小学校6年生が抱いている中学校入学に対する不安感が軽減されたことです。本市では、小中一貫教育の在り方を検討するため、今年度より市小中一貫教育検討委員会を立ち上げました。今年度は先進地視察を含む6回の検討委員会を実施し、小中一貫教育推進の方向性を定



今年度小中一貫連携研究事業の対象となった親園中学校



小池 利雄 議員

学習障害等支援事業の取り組みについて

「発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援研究事業」の概要について伺います。平成26年度より、学習困難による学校不適応の減少を目指し、文部科学省より、「発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援研究事業」の委託を受け、学習障害等の学習に困難を抱える児童の早期発見、児童の実態に応じた個別指導とユニバーサルデザインの授業づくりを推進していく研究を進めております。

研究内容としては、通常学級におけるユニバーサルデザインを1次支援、学校体制で取り組む個別支援を2次支援、通級指導教室等を利用した支援を3次支援と捉え、研究指定校である小学校2校を中心に市内全校に広がるよう取り組みんでいます。 ※ユニバーサルデザイン：年齢や障害の有無などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人が利用できるように製品や建造物、生活空間などを設計すること



研究指定校である金丸小学校

め、平成28年度には、具体的な計画を策定する作業部会を設置し、平成29年度には、モデル中学校区を指定する予定です。